



令和4年度 はあとサポーター会員の皆さま（7/20現在まで）



《 普通会員 》

（敬称は省略させていただきます。ご了承ください。）

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| ・中村 由造 | ・大平 ヒロ子 | ・岩谷 ナミ | ・高橋 アキ | ・武石 京 |
| ・村上 修三 | ・成田 忠義 | ・九島 美智子 | ・高橋 和子 | ・斉藤 和子 |
| ・三澤 勝行 | ・畠山 進 | ・神成 タミ子 | ・成田 鉄朗 | ・西根 富雄 |
| ・千葉 一枝 | ・花田 房子 | ・伊藤 克男 | ・伊藤 喜代 | ・近藤 俊実 |
| ・近藤 敏雄 | ・工藤 よう子 | ・前澤 千鶴子 | ・前澤 苑 | ・千葉 沙登美 |
| ・花田 イサ | ・松橋 利美 | ・九嶋 明美 | ・中嶋 ヤエ | ・小松 祉子 |
| ・板垣 昌子 | ・武石 久子 | ・中島 アヤ子 | ・佐藤 ケイ | ・小畑 たき子 |
| ・三沢 正蔵 | ・堀内 キミ | ・清水 貴和 | ・田山 諒 | ・清水 あさみ |
| ・澤田 ミヨ | ・北林 和子 | ・中村 隆平 | ・清水 まゆみ | ・清水 裕章 |
| ・清水 聖晶 | ・櫻田 悦子 | ・澤藤 レイコ | ・佐藤 敦美 | ・根本 ハツエ |
| ・五代儀 憲一 | ・五代儀 晴 | ・五代儀 朗 | ・武藤 欽奈 | ・松橋 匠 |
| ・桜庭 秀孝 | ・佐々木 孝夫 | ・鈴木 静子 | ・成田 元晴 | ・千葉 義孝 |

《 特別会員 》

- ・(株) 秋北文具
ご入会ありがとうございます。

令和4年度 寄付・寄贈をいただいた皆さま
(令和4年7月20日現在)

- 戸嶋 保子さま (亡夫 戸嶋信男さま)
- 木村 茂樹さま (亡妻 木村恵美子さま)



最年少のはあとサポーター会員
晴 (はる) ちゃん
朗 (あき) ちゃん 姉妹です

はあとサポーター会員を募集中です。

特典

- 1 会員証及びピンバッジの交付（初回登録時のみ）
- 2 各種講習会等の案内
- 3 有償福祉サービス事業の優待利用
- 4 おたすけはあと（介護保険適用外ヘルパー）の利用
- 5 はあとだよりの発行

年会費

- 1 普通会員（個人の登録会員） 一口 1,000円
- 2 特別会員（団体等の登録会員） 一口 5,000円

一口からでも会員登録できます。

皆さまの登録をお待ちしております!!!



生後5日目の「めだか」の写真です。
当社の職員が、めだかの産んだ卵を
孵化させることができました。

今も7匹以上成長を続けています。

令和4年8月



はあとだより

一般財団法人たかのす福祉公社
北秋田市大町8番23号
TEL0186-67-8255
FAX0186-69-7377
URL:http://www.takanosu-fukushi.com
E-mail:kousya@takanosu-fukushi.com

〈ごあいさつ〉

残暑お見舞い申し上げます

平素よりご利用者様、ご家族様、そして地域の皆様には格別のご高配を賜り、厚く御礼いたします。
新型コロナウイルス感染拡大も3年目となる今年、3回のワクチンを経てようやく落ち着きを見せるか？
と思いきや、最近またジワジワ広がりつつあります。

このような状況にありながらも、私たちは日々感染予防対策を十分に行い、皆様にサービスを届けさせて
いただいております。

梅雨の最中の6月17日に今年も「はあとガーデン」の
花植えを行いました。あいにくの雨模様でしたが、認定こ
ども園しゃろ〜むの先生たち、ささえのゆかいな仲間たち
の協力により和気あいあいで行われ、マリーゴールドの花
が今も鮮やかに咲いています。

子供たちが参加はできず残念でしたが、保育園の散歩コ
ースとして花を眺めに来てくれています。
お天気続きの日は「はあとサポーターの小塚さん」が花た
ちにお水をかけてくれます。

認定こども園しゃろ〜むの先生たち、ささえのゆかいな
仲間たち、そして小塚さん、ありがとうございます！

7月9日には、3年ぶりに米代川花火大会が開催され、若者たちが会場へ歩いていく姿を眺めながら、少
しづつ以前のような生活が戻り始めているなあと少しホッとしました。

毎日蒸し暑い日が続きますが、水分補給を忘れずに、お散歩ついでに「はあとガーデン」のお花たちを眺
めてみてください。

くれぐれも熱中症にはご注意ください！

2022年 盛夏

理事長 松橋 雅子

はあとガーデン植栽の写真です。雨の中ありがとうございました。



私たち（一財）たかのす福祉公社の職員は「チーム在宅」として、高齢になっても、障がいがあっても、その方々の住み慣れたご自宅での生活を支える仕事をしています。

利用者さんのご自宅で働く当公社の職員が、普段の仕事の中で、利用者さんやご家族からいただいている「パワー」のお話しを紹介いたします。

※ 途中で、質問です。「チーム在宅」ってなんですか？

介護が必要となった方（「利用者さん」といいます。）にケアマネジャーが、適切な介護サービスを受けられるようにケアプランを作成します。

ご自宅で看護、介護サービスを受けたい利用者さんのために

- ① ご自宅にヘルパーが訪問して行う介護サービス
- ② ご自宅でも安心して過ごすことができるように福祉用具（車いす歩行器、特殊寝台、手すり、ほか）のレンタルや販売
- ③ 体調が悪くなった利用者さんに、その方の主治医の指示によりご自宅で行う医療、看護
- ④ フードセンターたかのすでは、利用者さんのご自宅に毎日食事をお届けすることで行なう安否確認など



第1話 訪問看護ステーション

ご本人やご家族の方より、「はあとさんに来てもらって良かった。安心する。」などの感謝の言葉ももらうたびに嬉しくなり、私たちの方が元気をもらっています。

また、体調不良となった利用者さんのところへ訪問し、看護提供したあとに体調が落ち着いてくれたときは、安心感や嬉しい気持ちがおおきくなります。

特にターミナルケア（病気で余命がわずかになった方に対して行う医療、看護ケア）を通して、利用者さんご本人につらさや苦しみがある中で、ご本人やご家族の想いに寄り添い、同じ時間を共有できたときその方々からかけていただく言葉にあたたかさや重みを感じます。これからも看護師として生きて行くための励ましとなっており、かけがいのないものとして、しっかりと心の中につむいでいきたいと思います。



第2話 ヘルパーステーション

利用者さんのご自宅を訪問するヘルパーとして、お付き合いが10年になる方もたくさんおられます。

利用者の皆さんは、最後までご自宅ですごしたいという思いがあるため

自分でできることは、自分で、
できないことは、ヘルパーで
という生活が長年続いています。

そのような思いが、長年の現状維持につながっているように感じます。

私たちヘルパーも、人生の先輩たちに負けていけないという気持ちでこれからも利用者さんのご自宅での生活を、それぞれの方に合わせた「介護サービス」という形で支えていきたいと思っています。



第3話 ヘルパーステーション

認知症という病気は、新しい記憶が失われていきます。

あるご夫婦への介護サービス提供が始まり、一週間ほど経ったある日のこと。

帰り際のあいさつに対して、「いつもありがとう。車の運転気をつけてね。これからは私たちの面倒を見て下さい。」と声をかけていただきました。

ヘルパーとして、ご夫婦の生活に溶けこむことができたこと、
お役に立てたことが実感できたことなど
ヘルパーの仕事をして良かったと感じたあたたかな瞬間でした。



第4話 ヘルパーステーション

私は、利用者さん一人一人にゆっくり対応することができないこともあった施設の介護職を経験し、訳あって訪問ヘルパーの道に入ることとなりました。

今は、利用者さんのご自宅にうかがって、人生の先輩とゆっくり語り合うことができ、その利用者さんの歩んできた人生から学べるものがたくさんあります。

ご自宅にいるからこそ見ることができるそのままの利用者さんが、私たちヘルパーを家族と同じように接していただけることがありたく、そして仕事のやりがいにもつながっています。



つづいて、就労継続支援B型事業として当社が行っている「フードセンターたかのす」に通所する皆さんの日常の一コマを紹介します。



第1話 昼食時のこと。通所する皆さんは、食べるのが大好きです。 そんな中で・・・

Aさんは、中華丼にうずらの卵が1個たりないと思い、同席のBさんから分けてもらいました。

Aさんのどんぶりの底から1個出てきたけど返さなかった・・・ へへ

→ 皆さん食べるのが大好きなのに、分けてあげたBさんに涙がでそう。



第2話 淡い恋のお話しです・・・

Cさんから「私のこと好き？」と聞かれたDさん。

Dさんは、「ふつう」とボソリ。

「あ そう。」とフツウに別の話題に切り替えて、仲良く話していました。

→ アナタがどう思っているワタシはあなたが好き という気持ちがステキ。



第3話 怪しいけど、怪しくないんです・・・

Eさんは、フードセンターのチラシ配布の時、不在のところがあると、「第三の男」のバックミュージックを口ずさみつつ、抜き足差し足忍び足になってしまいます。

→ 決して怪しいものではありません。



第4話 まだ、ちょっと早いって・・・

FさんとGさんが、弁当やラーメン・おたすけまんまのチラシ配布している時、Fさんがお客さんと話して盛り上がると、いつもGさんから「トーク中のところですが、そろそろ次に行きましょうか」と声をかけてくれます。Fさんは心の中では、「エッ、まだ話しの途中・・・」

→ 優秀なタイムマネージャーがフードセンターにいます。